

第1回 SUMS 会 ども・ラボ

鈴鹿医療科学大学リハビリテーション学科の小児リハセラピスト専門教員2名が子どもたちを支援するセラピストを応援したいと実践研究会を始めます。職種を越えてどんな障害にも対応できるセラピストを一緒に目指しませんか。

《テーマ》

- 「子どもの動作・行為のとらえ方からアクティビティの展開へ発達障害事例を通じて・・・」

《内容》

症例検討・ワークショップ

～粗大運動でコミュニケーションがとりにくい児に対する関わり方や課題設定～

濱田匠(鈴鹿医療科学大学リハビリテーション学科作業療法学専攻)

粗大運動が不器用な児の運動を支援する～それぞれの特性を考慮して～

多田智美(鈴鹿医療科学大学リハビリテーション学科理学療法学専攻)

《日時》 2020年3月8日(日) 9:30～12:00

《場所》 鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスJART記念館1階
小児リハビリテーション室

《対象・定員》 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・40名

※今回は、対象をリハビリテーション職のみとさせていただきます。
ご了承ください。

※リハビリテーション学生の参加も大歓迎です

《参加費》 無料



《申し込み》

メールにて、題名を『第1回SUMSどもラボ参加申し込み』と明記し、お名前、ご所属、職種名を記入して、以下までメールにてお申し込みください。

申し込み締め切り：2020年2月28日(金)

tada@suzuka-u.ac.jp (多田)

今後、年に2回の頻度で日曜日午前中に継続していく予定です。ぜひご参加ください。